

パーソナルロッカー(PL)新ダイヤルユニットの説明と暗証番号固定化手順

1. 新ダイヤルユニットの説明

「固定化設定が難しい」との意見が多かった従来のダイヤルユニットの改良を行いました。(図1)



変更点
付属の専用ドライバーは一度、設定用小穴に挿入すると「固定」「自由」の設定が確実に完了するまでダイヤルユニットより抜けない仕組みになりました。

専用ドライバー

図1

2. 新ダイヤルユニットでの暗証番号固定化設定作業

2.1 暗証番号固定化設定作業の事前準備

(1) 暗証番号固定化設定作業はPLの扉を開いた状態で行います。(図2、図3)
(扉の表側のツマミは必然的に「OPEN」を指しています)



図2



図3

(2) ダイヤルユニットの設定が「自由」になっていることを確認します。(図2)
注: 既にダイヤルユニットの設定を「固定」にしている場合は必ず一旦、設定を「自由」に戻します。
「固定」の設定のまま、固定化作業をしても新しい暗証番号は反映されません。

2.2 暗証番号固定化作業

(1) 扉のダイヤルを回し任意の暗証番号を設定します。(図4)



図4

図4では暗証番号を「1111」としています

- (2) 扉の裏側(ダイヤルユニットの背面)にある小穴にPL付属の専用ドライバーを差込みます。(図5)
(3) 小穴に専用ドライバーを押し込みながら右へ180°回します(図6:断面図)
専用ドライバーは、小穴に押し込まないと回りません。
また、180°回さないとダイヤルユニットから抜けないようになっています。
(4) 小穴より専用ドライバーを抜き取ると、回転金具の切れ込みが「固定」の側にある溝にキチンとはまります。



図5

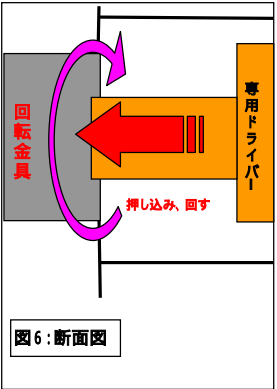


図6:断面図

専用ドライバーで回転金具を
押し込みながら右に180°回す
(180°回さないと抜けない構造)

* 固定化作業時、間違っでダイヤルを回してしまうと、自分の意図した番号と違う番号で設定されてしまうので注意してください。

2.3 固定化完了確認(必須)

- (1) 設定終了後、必ずダイヤルユニットの小穴を覗き、設定の確認を行ってください。
回転金具目印が「固定」側の溝にキチンとはまっていれば設定完了です。(図7)
(2) 別の確認方法として、PLの扉を閉じる前に自分が設定したのと違う暗証番号をダイヤルしても
扉のツマミは「CLOSE」側に回りません。(図8)

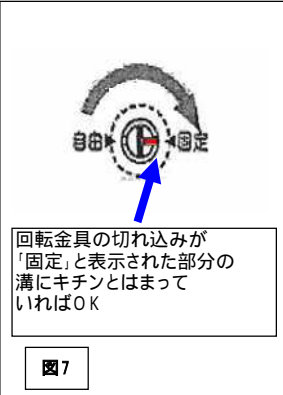


図7

回転金具の切れ込みが
「固定」と表示された部分の
溝にキチンとはまって
いればOK



図8

図8では暗証番号を「2111」となっているため
扉のツマミが左に回りません。

3. その他

設定を「固定」「自由」に戻す場合は、項番2.2(3)の手順で差し込んだ専用ドライバーを左へ180°回してください。